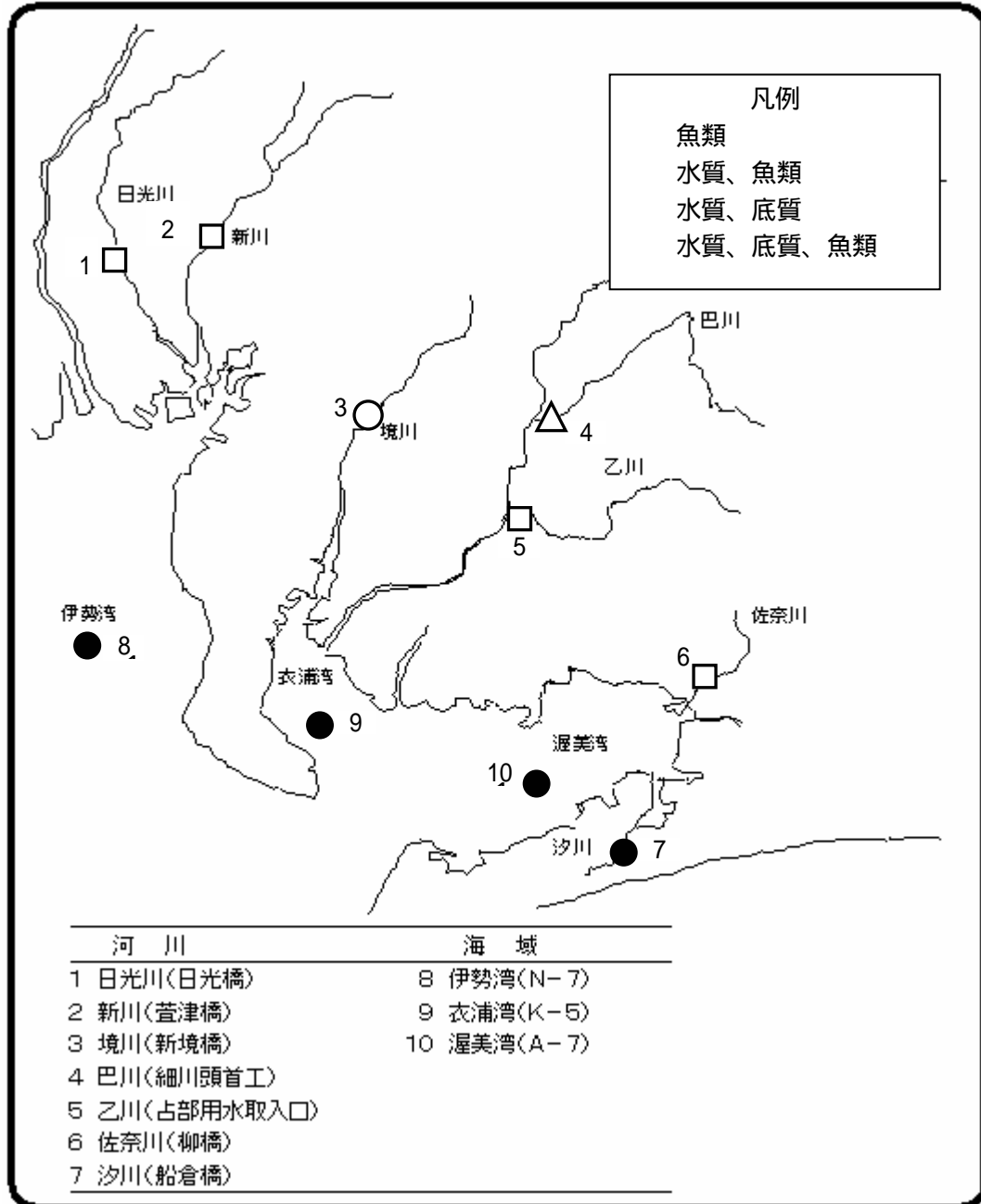


平成20年度内分泌かく乱化学物質調査地点図



平成20年度内分泌かく乱化学物質環境調査結果

水質

(単位: µg/)

No	調査物質	日光川	新川	境川	乙川	佐奈川	汐川	伊勢湾	衣浦湾	渥美湾	最高検出濃度	検出下限値	予測無影響濃度	最大無作用濃度
		日光橋 H20.9.12	萱津橋 H20.9.12	新境橋 H20.9.25	占部用水取入口 H20.9.25	柳橋 H20.9.25	船倉橋 H20.9.25	(N-7) H20.10.17	(K-5) H20.10.17	(A-7) H20.10.17				
1	4-t-オクチルフェノール	0.06	N.D.	0.11				N.D.		N.D.	0.11	0.01	0.992	9.92
2	ノニルフェノール	1.3	0.2		N.D.			N.D.		N.D.	1.3	0.1	0.608	6.08
3	ビスフェノールA	0.15	0.07	0.12	0.13	0.30	0.09	0.01	N.D.	0.01	0.30	0.01	24.7または47	247または470
5	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	N.D.	N.D.			N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.3	-	-

- 注) 1. 「N.D.」は検出下限値未達を、斜線は調査対象外であることを示す。
 2. 単位: µg(マイクログラム)は、100万分の1g(グラム)
 3. 最大無作用濃度: 生態系影響評価のための試験により、メダカの性分化に影響を与えなかった最大濃度。
 予測無影響濃度: 最大無作用濃度に安全係数(1/10)を乗じることにより求めた魚類を中心とする生態系に影響を及ぼす可能性はないと予測される濃度。

底質

(単位: µg/kg-dry)

No	調査物質	日光川	新川	乙川	佐奈川	汐川	伊勢湾	衣浦湾	渥美湾	最高検出濃度	検出下限値	全国調査結果(H16年度)
		日光橋 H20.9.12	萱津橋 H20.9.12	占部用水取入口 H20.9.25	柳橋 H20.9.25	船倉橋 H20.9.25	(N-7) H20.10.17	(K-5) H20.10.17	(A-7) H20.10.17			
1	4-t-オクチルフェノール	25	1				2		1	25	1	<1~350
2	ノニルフェノール	380	60	N.D.			10		N.D.	380	10	<10~5000
3	ビスフェノールA	29	23			8	9	4	5	29	1	<1~360
5	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	160	480		130	140	290	120	25	480	25	<25~66000

- 注) 1. 「N.D.」は検出下限値未達を、斜線は調査対象外であることを示す。
 2. 単位: µg(マイクログラム)は、100万分の1g(グラム)
 3. 全国調査結果は直近のデータを示す。

水生生物(魚類)

(単位: µg/kg-wet)

No	調査物質	日光川	新川	境川	巴川	乙川	佐奈川	最高検出濃度	検出下限値	全国調査結果(H10年度)
		日光橋 H20.10.21~28	萱津橋 H20.9.18~10.31	新境橋 H20.9.24	細川頭首工 H20.9.24~11.6	占部用水取入口 H20.9.24~10.31	柳橋 H20.9.24			
1	4-t-オクチルフェノール	12	1	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	12	1	<1.5~30
2	ノニルフェノール	50	20	10	N.D.	N.D.		50	10	<15~780
3	ビスフェノールA	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	5	<5~15
4	o,p'-DDT	N.D.	N.D.	N.D.		N.D.	N.D.	N.D.	5	<5

- 注) 1. 「N.D.」は検出下限値未達を、斜線は調査対象外であることを示す。
 2. 単位: µg(マイクログラム)は、100万分の1g(グラム)
 3. 全国調査結果は直近のデータを示す。